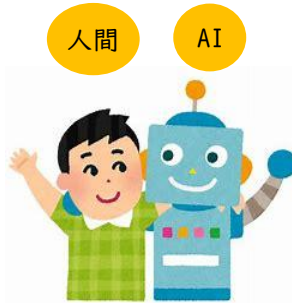


ご入学・ご進級おめでとうございます。4月になり新しい環境での生活がスタートしました。これまでの社会は「認知能力」が評価の基準となっており、知識や技能を身に付ければ社会で対応できると言われていました。社会や生活が急速に変化し、その変化に対応する力として「非認知能力」が注目されています。自身のまわりで起こる変化や課題に対応していくためにも、「意欲・やる気」「粘り強さ」「他者との協力」と言った非認知能力を育むことが必要となります。今回は非認知能力について一緒に勉強していきましょう。

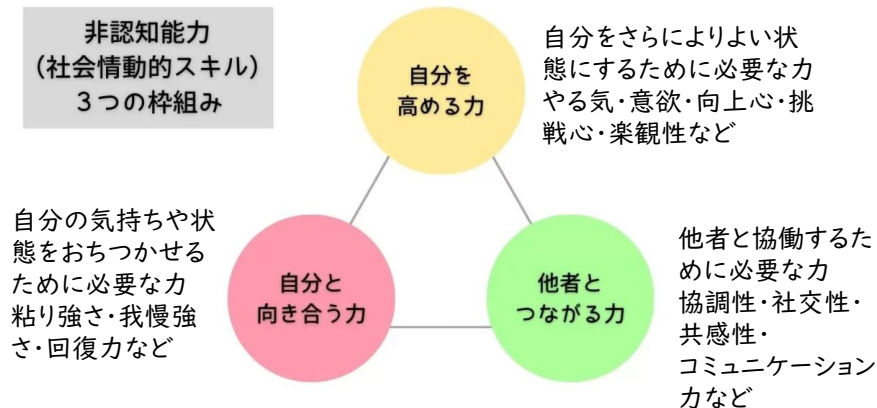


【人間の長所】
意欲を持ったり、創造したりできる。
感情を持ち、他者と協働することができる。

【AIの長所】
大量の情報を処理したり、指示したりできる。
複雑なパターンを認識することができる。

認知能力
+
認知能力
+
非認知能力
(人だからこそ求められる力)

★非認知能力には大きく3つの力があります



★非認知能力を育てるためのポイント

- プロセスから“いいこと”を見つけるための視点を持つよう
- 子どもの気持ちや思いを聞いてみよう
- 子どもの価値を見つけ、伝えよう
- 意図的にきっかけになる「体験」(仕掛け)を作りだそう



非認知能力を伸ばすきっかけとなるさまざまな「体験」をおとなが意図的につくり、働きかけていくことを「仕掛け」といいます。
できるようになってほしいこと・続けてほしいことなど、どんな姿や行動を引き出したいか明確にし、ただし、子どもに押し付けず、意思を尊重しましょう。

★仕掛けのポイント

「モノ」の工夫

- ・シールを渡し、溜まったらご褒美を準備する。
- ・人形やぬいぐるみ等でおしゃべりして勇気づける。
- ・絵本を準備し、物語や登場人物の気持ちを考える。

「場所」の工夫

- ・興味を示すように見える場所に、図鑑や地球儀を置く。
- ・着替えや歯磨きなど行動を促す曲やルールを知らせる音楽を流す。
- ・人と触れ合う公園や、イベントに参加する。

「やること」の工夫

- ・今日することを自分で決め、その通りにできるか計画をたてる。
- ・出来たことや頑張った事の振り返りをする。
- ・ごっこあそびや絵本などの登場人物になりきる。

「人」の工夫

- ・当番やリーダーに任命する。
- ・家族や先生などに“いいところ”を伝え、ほめてもらう。
- ・安心・安全な人間関係(きょうだいや友達と一緒にいる)。

利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜～金曜日
午前8時00分～午後5時30分まで

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階
ますかっと病児保育ルーム
TEL 086-235-7301



ホームページはこちら

